佐野 武次 議員

コミュニティセンターの収益事業

問 コミュニティセンター化からおおむね2年を迎えるが、収益事業を始めた事例はあったか。

答 農地を活用して、栽培や加工販売をしている事例はあるが、全体的には取り組みまでは至っていないのが現状である。今後に期待したい。

自治会活動の課題への対応

問 高齢化や核家族化などにより、自治会長など役員の担い手不足が深刻化している。今後どのように自治会を維持し運営していく方針か。

答 地域の現状は認識している。役員の負担軽減を可能な限り図り、大変ではあるが、自治会や地域のため務めていただくよう、お願いしたい。

学校図書室の改革

問 豊かな人間性を育んでいくためにも、学校図書室の改革を提案する。

答 移動式本棚を利用し、児童生徒が気に入った場所で、リラックスした状態で本を手にとることができるよう工夫している。今後も、多くの児童生徒が本に親しめる居心地のよい読書環境づくりに取り組んでいきたい。

幸浦コミュニティーセンター

浅田 二郎 議員

気象危機に市の積極的取り組みを

問 異常気象・災害が頻発し、地球温暖化対策が喫緊・重要な課題となっている。市として野心的な目標を持ち、「二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」などで決意の表明を。

答 宣言の必要性はあるが、具体的にどういうビジョンを描いたらいいのかを検討してから進めたい。

問 日照時間をはじめ地域資源の豊富さを生かし、再生可能エネルギーの発電に力を尽くすべきで、公共施設も建て替えや大規模修繕時の導入だけでなく、検討すべきでは。

答 地産地消のエネルギーをもっと作っていくことに、市も積極的にやっていくべきと思っている。建物だけでなく、市の持っている土地等も対象に考えていきたい。

被害者の立場でいじめ問題解決を

問 いじめが要因で、保護者が離職、転校を早めることがあった。対応に問題は。

答 学校の対応、保護者の思い、加害児童の状態・加害児童の保護者、その3者の考え方・方向性が一つになかなかまとまらなかった難しい事案だった。職員と一緒に今後について考えていきたい。

浅羽南小学校の屋根に設置された太陽光パネル